

自主的環境保全活動の取り組み状況（令和5年度）

（事業所名） J-POWERジェネレーションサービス 高砂火力運営事業所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

高砂火力運営事業所は、人々の求める電力を安定供給すべく、発電設備の保安と作業の安全を確保するとともに、高い信頼性と品質を維持して事業活動を継続していきます。また、環境との調和を図り、地域と社会の信頼と期待に応えていきます。

そのため、安全衛生・環境・品質・自主保安の取り組みに関する所長方針を定め、全所員に周知し実践していきます。そして、より良い事業活動に向けて仕組みや取り組みの評価・改善に努めていきます。

環境方針

- ・事業活動に伴う環境負荷の低減に向けて、環境監視と環境対策を徹底します。
- ・設備の効率運転、省資源、省エネルギー対策に取り組みます。
- ・産業廃棄物の適正処理、資源のリサイクル化に取り組みます。

【目標・計画等】

環境保全活動	目 標	目標達成のための計画・方策
○省エネルギーの推進 （オフィス使用電力量）	オフィス使用電力の削減	・昼休みの消灯、不使用会議室等の消灯、空調の弱設定等を実施 ・夏期のサーキュレータ導入による空調機使用電力量の低減 ・LED照明の順次導入 ・クールビズ、ウォームビズ推進
○温室効果ガスの排出量削減 （CO ₂ 以外の温室効果ガス排出抑制）	発電所で取扱うSF ₆ の排出抑制と適正管理	・SF ₆ 回収率について、点検時97%以上、撤去時99%以上となるよう努めること

○循環型社会形成の推進 (適正な産業廃棄物処理の徹底)	発電所から発生する産業廃棄物を適正に処理するとともに、有効利用の促進に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法規制や会社で定めたガイドライン等に従い、産業廃棄物の適正な処理・管理を実施。 ・ 一般廃棄物に関する分別収集の徹底。 ・ 廃棄物パトロールの実施 (1 回/月) ・ 電子マニフェストの使用継続
○循環型社会形成の推進 (廃プラスチック搬出量の把握)	発電所から発生する廃プラスチック等の排出量やその他再資源化を行う物品について把握するとともに、分別・収集を確実に実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラスチック搬出量の把握 (月次) ・ 再資源化を実施している物品の把握
○循環型社会形成の推進 (3Rの推進)	発電所で使用するコピー用紙はグリーン調達率 100%とし、過去4ヵ年平均購入実績量以下となるよう努める	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーン調達状況を監視し、調達率 100%を維持 ・ 裏紙、両面印刷、PowerPoint資料の複数ページの1ページ印刷等の周知徹底
○環境マネジメントレベルの向上	システムの継続的な改善を行ない、環境負荷の低減に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の設定、関係法令の特定と遵守評価、進捗度の評価 ・ 内部監査やマネジメントレビューを実施し、システムの継続的な改善に努める。
○環境教育	環境保全に関する従業員教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理に関する教育、研修、訓練の実施 ・ 環境トラブルの発生時における連絡体制の周知

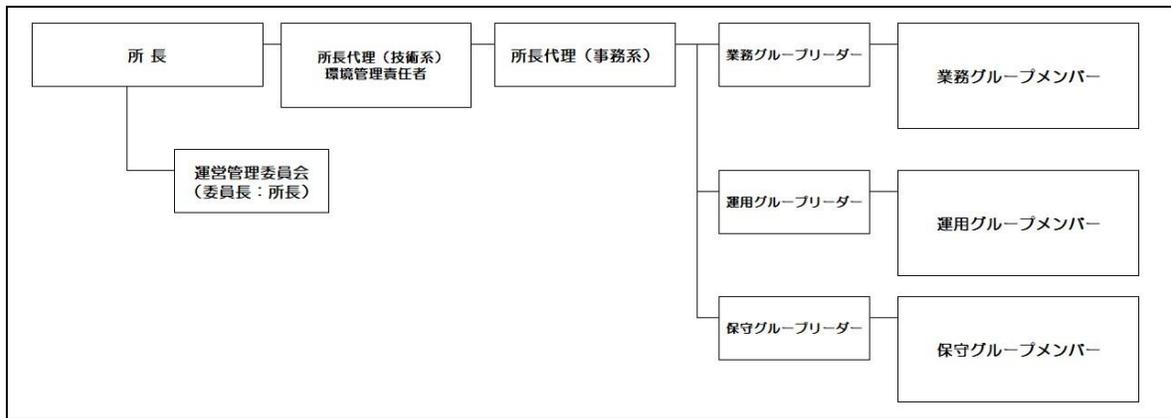
○地域の環境保全活動への参加	環境行事への積極的な参加や、地域社会の一員として積極的なコミュニケーションに努める	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流 ・行政主催行事への参加 ・発電所関係周辺の清掃活動
○環境コミュニケーションの推進	国が定める環境月間・週間行事に呼応した環境活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・環境月間・週間行事の実施と参加

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

J-POWER[®]ジェネレーションサービス株式会社 高砂火力運営事業所

役職名	業務内容等
所長	<ul style="list-style-type: none"> ・最高責任者
所長代理（技術系）	<ul style="list-style-type: none"> ・管理責任者（運営管理システム） ・環境業務に関係する統括管理、所長を補佐
所長代理（事務系）	<ul style="list-style-type: none"> ・事務的業務全般の執行統括 ・所長を補佐
業務グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○事務部門 環境関係総括業務、危機管理に関する業務他
運用グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○運転部門 発電設備運転、運用管理（環境管理に関する業務を含む）、燃料・灰処理、港湾管理業務
保守グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○保守部門 発電所保守、技術総括管理、環境対策設備の維持、管理



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
○省エネルギーの推進 (オフィス使用電力量)	・昼休みの消灯や、不使用会議室の消灯等の取組みを徹底した。	昼休みの照明消灯や空調温度の調整継続を通じて、オフィス使用電力の削減に努める。
○省エネルギーの推進 (通勤車両の燃料使用)	・社有バスの減便運用を継続した。・アイドリングストップについて所員への呼びかけ等を行い、省エネルギー推進に努めた。	引続き社有バスの減便運行やアイドリングストップ等の推奨を継続するが、当初の目標を達成できたことから、次年度以降は環境保全活動における目標からは除外する。

<p>○循環型社会形成の推進</p> <p>(適正な産業廃棄物処理の徹底)</p>	<p>・関係法規制や会社で定めたガイドライン等に 従い、産業廃棄物の適正な処理・管理を徹底し た。・産業廃棄物は電子マニフェストにより管 理した。・廃棄物パトロールは毎月実施して おり、懸念事項があった場合は速やかに処置 した。</p>	<p>引き続き廃棄物の適正 処理・管理を徹底す る。</p>
<p>○循環型社会形成の推進</p> <p>(廃プラスチック搬出量の把握)</p>	<p>・発電所から発生する廃プラスチック等の排出 量を精確に把握した。(2023年度:20.73t)</p> <p>・再資源化を行っている物品について、適切に 把握した。(廃プラスチック、ペットボトル)</p>	<p>引き続き廃プラスチ ック等の排出量や、 再資源化を行ってい る物品を把握すると ともに、発生量の削 減に努める。</p>
<p>○循環型社会形成の推進(3の推進)</p>	<p>・社内調達ガイドラインに則った取り組みを行 ない、グリーン調達率を達成した。・コピー用 紙について、過去4ヵ年平均購入実績量を下回 ることに成功した。(171,438枚の削減)</p>	<p>・引き続きグリーン調 達率の維持や、コピ ー用紙の購入量削減 に努める。</p>
<p>○環境マネジメントレベルの向上</p>	<p>・マネジメントシステムの継続的な改善を行な うことで、環境負荷の低減に努めた。・内部監 査やマネジメントレビューを適宜実施すること で、マネジメントシステムの継続的改善に努め た。</p>	<p>・引き続きマネジメン トシステムの継続的 な改善を通じ、環境 負荷の低減に努め る。</p>
<p>○環境教育</p>	<p>・年度計画を策定し、環境教育、訓練を適宜実 施した。月の環境月間には、当所の環境マネジ メントシステムに関する従業員教育を実施し た。・環境トラブル時の連絡体制について、環 境管理体制の変更毎に周知徹底を図った。・重 油船からの油漏洩を想定し、油漏洩時の通報・ 連絡訓練を行った。(12月13日)</p>	<p>・引き続き環境保全に 関する従業員教育を 徹底する。</p>

<p>○地域の環境保全活動への参加</p>	<p>・地域社会の一員として、行政主導による河川敷清掃や、近隣企業との合同による発電所周辺の清掃活動（6月15日、10月31日）を実施した。</p>	<p>・引続き積極的な環境活動の展開や地域コミュニケーションを実施する。</p>
<p>○環境コミュニケーションの推進</p>	<p>・国が定める環境月間・週間行事に呼応した環境活動として、構内の除草作業や環境保全設備パトロール、寮・社宅における光熱費節約の呼びかけ等を実施した。</p>	<p>・引続き国が定める環境月間・週間行事に呼応した環境活動を実施する。</p>